

【概要】

製剤学 は、第2学年前期の製剤学 から引き続き、薬剤学関連の基礎理論としての物理化学的な性質と、製剤化への応用について理解する。日本薬局方における製剤の定義、用法、製造法、試験法などを理解する。

() 薬物は、その原薬をそのまま使用することはまれで、治療に用いるには適当な製剤化をしなければならない。ここでは、

1. 液体製剤の基礎的性質として、分散と界面

2. 半固形製剤の基礎的性質として、流動、レオロジー、粘度

について学ぶ。

() 製剤の分類、形態、使用方法についての理解を深める。

() 個々の製剤の製造工程、製剤添加物、製剤試験法について学ぶ。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による